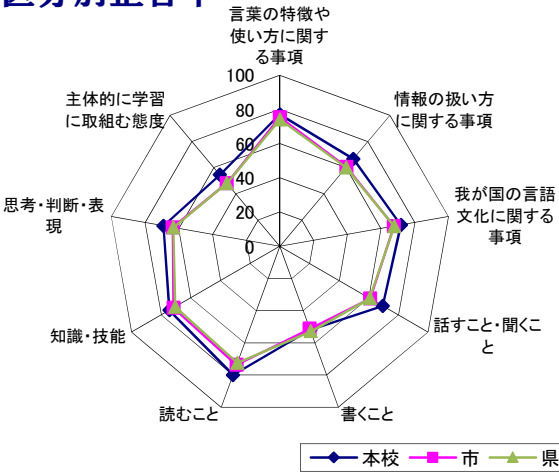


宇都宮市立今泉小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	77.1	75.4	74.1
	情報の扱い方にに関する事項	66.7	60.5	60.2
	我が国の言語文化にに関する事項	71.8	67.7	67.8
	話すこと・聞くこと	69.5	61.0	60.7
	書くこと	51.9	51.2	52.8
観点	読むこと	79.9	73.7	72.4
	知識・技能	74.5	71.7	70.6
	思考・判断・表現	69.0	63.5	63.2
	主体的に学習に取り組む態度	54.6	48.2	48.1



★指導の工夫と改善

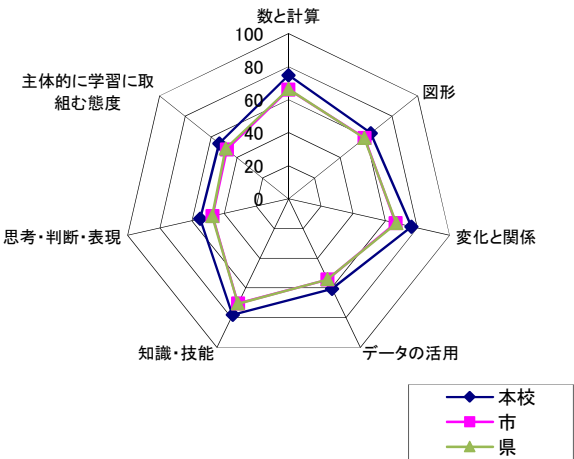
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均を1.7ポイント、県の平均を3ポイント上回っている。 ○漢字を読む設問の正答率は、平均で98.3%であり、十分に定着しているといえる。 ●漢字を書く設問の正答率は、平均で82.9%であり、課題が残る。 ●修飾語についての設問の正答率は、県の平均とほぼ同じであるが平均正答率が48%と十分満足とは言えない。また、連用修飾語については、他の回答を選択した児童が多かった。	・漢字の学習については、新出漢字だけでなく既習の漢字も確認したり、文章を書く場面でも漢字を使って書く活動をできるだけ取り入れ、内容の定着を図る。 ・詳しく説明することを意識して書いたり、話したりするように日常的に指導するとともに、日本語の品詞について振り返る時間を設ける。 ・問題文をよく読んでから回答するよう、また、見直しをしっかりと行うよう声掛けをしていく。
情報の扱い方にに関する事項	平均正答率は、市の平均を6.2ポイント、県の平均を6.5ポイント上回っている。 ○漢字辞典の使い方にに関する設問では平均正答率が85.9%で、市の平均より6.2ポイント高く、漢字辞典の活用が定着しているといえる。 ●情報と情報との関係について理解し、理由や事例などを挙げる設問では、平均正答率が46.2%と課題がある。	・漢字辞典の使い方については、教室内に漢字辞典を置き、いつでも児童が使用できるようにする。 ・情報の活用方法について適切に活用ができるように文の構造や内容の展開を理解させ、論理的な思考の定着を図る。
我が国の言語文化にに関する事項	平均正答率は、市の平均を2.3ポイント、県の平均を4ポイント上回っている。 ●市・県の平均を上回っているものの、平均正答率が71.8%となっており、課題が残る。	・ことわざの使い方については、ことわざを使う場面を授業の中で取り入れ、児童が普段の生活で正しく使えるようにする。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均を6.7ポイント、県の平均を8.8ポイント上回っている。 ○話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉える設問では、平均正答率が93.6%となっており、学習内容が定着しているといえる。 ●意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめる設問では、市・県の平均を上回っているものの、平均正答率が60.9%となっており、課題が残る。	・日頃の学習に意見を交流し合う活動を積極的に取り入れ、自分の意見を述べたり、相手の意見の大切なことや理由も正しく聞いたりすることを、繰り返し指導していく。
書くこと	平均正答率は、市の平均よりやや高く、0.7ポイント上回るが、県の平均を0.9ポイント下回っている。 ○内容の中心を明確にし、事実を伝える文章を書く設問では、平均正答率が60.3%であり、市・県の平均より4ポイント以上上回っている。 ●指定された長さで文章を書く設問では、県の平均よりも5.6ポイント下回っており、指定された条件を満たす文章を書くことに課題がある。	・教育活動を広く視野に入れて、考えたことを書いて記録する活動を取り入れ、書くことに慣れることができるようにする。 ・書いた文章を互いに読み合うなど、より伝わりやすく書こうとする意欲が高まる学習活動を意識的に取り入れることで、書くことの目的意識を生む。 ・根拠を明確にして自らの考えを表現する場を学習活動内に意識的に取り入れたり、作文用紙を使用して指定された条件の元、文章を書いたりすることで必要な内容を伝わりやすい構成を考えて書くことができるようにする。
読むこと	平均正答率は、市の平均を6.2ポイント、県の平均を7.5ポイント上回っている。 ○登場人物の性格について、具体的に想像する設問については、平均正答率が97.4%となっており、学習内容が定着しているといえる。 ●情報と情報の関係について理解し、中心となる語や文を見付けて要約する設問では、市・県の平均を上回っているものの、平均正答率が67.9%と他の設問に比べると正答率が低く、課題が残る。	・引き続き読書活動の充実と推進を図るとともに、物語文の学習では、人物の様子や場面の変化を丁寧に読み取ったり、自分と対比して読んだりしながら、読み深める活動を取り入れる。 ・説明文では、段落構成や筆者の考えを意識しながら、文章の内容を的確に読み取れるように学習活動を工夫する。

宇都宮市立今泉小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	74.8	66.1	66.4
	図形	63.7	58.9	58.8
	変化と関係	76.4	66.6	67.0
	データの活用	60.6	54.4	54.2
観点	知識・技能	78.1	70.4	70.6
	思考・判断・表現	54.9	47.2	47.5
	主体的に学習に取り組む態度	53.7	47.8	48.8



★指導の工夫と改善

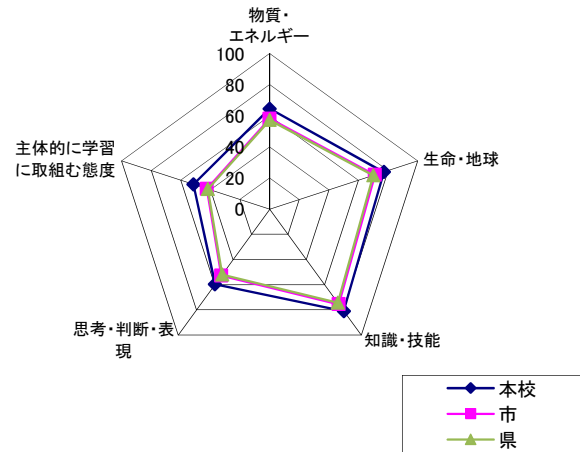
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、市の平均を8.7ポイント、県の平均を8.4ポイント上回っている。 ○「億と兆・がい数の表し方」の数の相対的な大きさについての設問では、県の正答率を22.3ポイント上回っており、数の仕組みを理解している児童が多いと考えられる。 ●「億と兆・がい数の表し方」の概数に対応する数の範囲を求める設問では、県の正答率を2.3ポイント下回っており、課題である。	・概数に関する学習では、「以上・以下・未満」などの算数的な言葉への理解を深めるために、数直線や図などを使い、可視化しながら指導をする。 ・基礎基本の定着を図るために、繰り返し問題を解いたり、既習内容を生かしながら考えたりする機会を多く設ける。
図形	平均正答率は、市の平均を4.8ポイント、県の平均を4.9ポイント上回っている。 ○「面積」の単位の関係に関する設問では、県の正答率を15.4ポイント上回っており、辺の長さから面積を求める方法を理解し、順序立てて説明する力が身に付いている児童が多くいることが分かる。 ●「面積」の教室のおよその面積を選ぶ設問では、県の正答率を1.2ポイント下回っており、課題である。	・数量感覚を身に付けるために、身の回りの物の長さや重さの見当を付けるなど、普段から自分の生活と算数の学びを結び付けて考えられるよう指導する。 ・自らの知識として分からない大きさであっても、具体的な数値を用いておよその大きさを求めるなど、既習内容を生かして答えを導き出せるような活動を取り入れるなど、指導を工夫する。
変化と関係	平均正答率は、市の平均を9.8ポイント、県の平均を9.4ポイント上回っている。 ○どの設問も県や市の正答率を上回っている。 ●「簡単な場合の割合」における図を使って基準量を求めるための式を立式する設問や、「変わり方調べ」において伴って変わる2つの数量の関係を式に表す設問の類型外解答の割合がどちらも19.2ポイントと高かった。	・問題全体の内容を把握したり、時間配分を考えたりしながら落ち着いて問題に取り組むことを、日常的に指導する。 ・日頃の授業から、式を立てるまでの流れを視覚的に示し、問題の指し示す意味や、求めるべき内容を児童が理解できるよう指導を工夫する。
データの活用	平均正答率は、市の平均を6.2ポイント、県の平均を6.4ポイント上回っている。 ○折れ線グラフの読み取りを行う設問2つの正答率は、どちらも県や市の正答率より10ポイント近く上回っていた。 ●「折れ線グラフと表」において、必要な表を選び、それを用いて求め方を説明する設問の平均正答率が26.9%と、算数の全ての設問の中で最も低く、記述式の設問への課題が見られる。	・グラフの内容は読み取ることができているため、そこから得たことを根拠に理由を説明できるよう、日頃から言葉や数を使って簡潔に説明する機会を多く設ける。

宇都宮市立今泉小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	64.5	58.1	57.2
	生命・地球	77.1	71.1	70.0
観点	知識・技能	81.0	75.5	74.4
	思考・判断・表現	59.7	52.7	51.9
	主体的に学習に取り組む態度	51.4	42.4	41.7



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	平均正答率は、市の平均を6.4ポイント、県の平均を7.3ポイント上回っている。 ○閉じ込められた空気や水に力を加えたとき、空気だけが押し縮められることをよく理解できていた。さらに、気泡シートが閉じ込められた空気にも力を加えたときの性質を利用したものであることを説明することもできていた。身の回りで閉じ込められた空気の性質を利用して活用されている例を、考察やまとめの中で結び付ける活動を行ったためと考えられる。 ●物のあたためり方の単元では、金属のあたためり方について実験の結果を推測することに課題が見られる。	・今後も、実験の結果から分かったことが、日常生活においてどんな場面で生かされているのか一緒に考える場をもつよう心掛けていきたい。 ・児童が見出した問題に対して予想や仮説をもち、それらを基に見通しをもって実験などの活動に取り組むことができるように支援していく。また、自然の事物・現象について抱いた疑問については自主的に追究していけるような支援をし、既習の知識を生かして解決しようとする姿勢が身につくように指導する。
生命・地球	平均正答率は、市の平均を6.0ポイント、県の平均を7.1ポイント上回っている。 ○天気の様子と気温の設問において、一日の気温の変化のグラフから晴れの日を判断しその理由を説明することについてよく理解できていた。 ●月と星の設問で方位磁針の正しい使い方について、県や市の平均を上回るものの、全体の正答率が6割程度にとどまっており理解の定着が今後の課題である。	・児童が見出した問題に対して予想や仮説をもち、それらを基に見通しをもって観察・実験などの活動に取り組むことができるように支援していく。また、気象に関する事物・現象について抱いた疑問については自主的に追究していけるような支援をし、既習の知識を生かして解決しようとする姿勢が身につくように指導するとともに、5年生の気象に関する学習への意欲へと繋げていきたい。 ・方位磁針をはじめ、実験や観察に使用する用具については、継続的に使用方法の確認をし、使い方を実践する場をしっかりと確保することで、理解を定着させていきたい。

宇都宮市立今泉小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「家で学校の授業の復習をしている」「家で勉強する時に、だいたい同じ時刻に取り組むようにしている」「学校の授業時間以外に、ふだん(月曜～金曜日)1日当たり1時間以上勉強している」と肯定的回答をした児童の割合はそれぞれ(66.7%)(65.4%)(60.3%)と市の肯定的回答割合を上回っている。また、「学校の授業時間以外に、ふだん(月曜～金曜日)1日当たり30分以上読書をしている」への肯定的回答割合は(41%)と市の平均を上回っている。児童は学校で習ったことを中心とした家庭学習の習慣を身に付けることができている、読書など自分の関心を広げながら家庭学習をすることもできるようになっている。

○「授業を集中して受けている」について肯定的回答した割合は(96.2%)と高く、また「クラスは発言しやすい雰囲気である。」について肯定的回答をした割合はそれぞれ(83.3%)と、市や県の平均と比べ上回っていることから、本校では学習活動の中で、友達の考えをよく聞いて理解し、自分の考えを伝えながら学習することができていることが分かる。普段から授業に集中して取り組むことができている、お互いの考えを交流したりする機会を設けている成果が表れていると考えられる。今後も、児童の興味・関心を高めることができるような学習課題を工夫し、取り入れていきたい。

○「毎日、朝食を食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」について肯定的回答をした割合はそれぞれ(94.8%)(88.5%)でよい結果となっている。全員が達成できるよう、保健の授業などで生活習慣の大切さを指導し、保護者とも連携しながら大切さを伝えていきたい。

●「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と「家で学校の授業の予習をしている」について肯定的回答した児童の割合は、どちらも市や県の平均をやや下回っている。課題に対して意欲的に取り組んでいる児童は多いが、主体性に個人差があると思われる。児童の様子を観察し、自分から進んで取り組めるよう個々に合わせた支援を心がけたい。

●「勉強していて『不思議だな』『なぜだろう』と感ずることがある」「難しい問題にであうと、よりやる気が出る」の問いに対して肯定的回答をした児童は、市・県の平均と比べて下回った。自力解決の喜びや学ぶことの楽しさを味わうことのできる学習場面を設定する機会を増やすような工夫を取り入れることにより、学びを広げる態度を育てていきたい。また、「学習して身に付けたことは、将来の仕事や生活の中で役に立つと思う」の肯定割合も市・県の平均と比べて下回った。新しい知識を身に付ける楽しさと共に、身に付けた力が将来につながっていくことを語りかけていく場面を設けていきたい。